

協 建 「設計エラー」の防止へ チェックシート活用を

一般社団法人建設コ
ンサルタント協会九州
支部は、10月31日に宮崎
市で2025年度「地域
セミナー」を開催した。

今年度のセミナーには、
宮崎県部会の会員ら約
40人が参加。設計業務に
於けるエラー防止を目的
に、品質向上委員会
が作成・更新している
チェックポイントシー
トの活用方法や有用性
などを確認した。

品質向上委員会では、
設計成果のエラーが構
造部の安全性低下や手
戻りにつながるることか
ら、照査技術者による照
査の段階で設計担当者
自身が容易にセルフ
チェックを行い、重大な
エラーやミスを早期に
発見・対処できるように

独自に作成したチェッ
クポイントシートを解
説するセミナーを定期
的に各地で開催してい
る。

冒頭の挨拶で宮崎県
部会の永友教治部会長
は、担い手の確保・育成
や品質向上、DX推進に
向けた環境整備といっ
た協会の取り組みを紹
介するとともに、今回の
セミナーで品質向上や
エラー防止のための手
法を解説することを説
明。「品質向上の一助と
なり、地域の発展や安
全・安心の確保に繋が
ることを期待したい」と
述べた。

セミナーでは、品質向
上委員会の河川、土質、
道路・トンネル、橋梁の
各ワーキンググループ

の担当者が講師を務め、
鋼製起伏堰や道路計画、
切梁式鋼矢板などを例
に、同委員会が収集した
具体的なエラー事例を
解説。エラーの発生要
因やこれを防ぐための
チェックポイントシー
トの活用方法、改善策な
どを分かり易く解説し
た。

全ての分野に共通す
る品質確保の留意事項
として、設計担当者は
「設計条件に見落としが
ないか確認する」「解析
を行う場合は計算モデ
ルの妥当性を確認する」
など、管理技術者に対し



【挨拶する永友部会長と石井委員長、セミナーの様様】

ては「おかしいと感じた
ことをそのままにしま
い」など、所属長に対し
ては「段階チェックが行
われていることを管理
する」などを挙げた。

セミナーではこのほ
か、宮崎県土木整備部技
術企画課の並河伸宜課
長補佐が「宮崎県におけ
る公共事業の品質確保
の取組2025」と題し
て特別講演を実施。業務
委託の履行期間の平準
化やBIM/CIMを
活用した働き方改革、発
注者・設計者（測量者）・
施工者が仮設計画等に



ついて意見を交わす三
者検討会の取り組みを
紹介した。

セミナーを総括した
品質向上委員会の石井
健太郎委員長は、近年、
特に下水道工事等で仮
設構造物に関する事故
が増加していることに

起因し、会計検査で仮設
構造物のチェックを受
ける案件が増えている
ことなどを踏まえ、「事
前の準備を含めて、様々
なケースでチェックポ
イントシートを有効的
に活用してもらいたい」
と呼び掛けた。